

災害をイメージする練習「目黒巻き」

①「目黒巻き」を使って自分だけの物語を書いてみよう！

これから「目黒巻き※」を使って、災害時の状況を想像して物語を書いてみます。プリントに、「数分後」「数時間後」「数日後」と書かれていますね。その時間、自分がどんなことをしているか、まわりがどんな状況になっているかを書き込んでいきます。『地震の後のおはなし』なら、どんな状況を想像してもだいじょうぶです。良いこと、悪いこと、びっくりすること・・・自由に書いてみましょう！

②スタートの状況を記入します。

まず、左側の「設定」を記入しましょう。

震度： 7 ※阪神・淡路大震災と同じくらいです

季節： 冬 ※とても寒い日です。

天候： 晴 ※雨の心配はなさそうです。

曜日： 水曜日

時刻： 12:30 ※お昼休みの頃です。

あなた：自分の名前と、家族のなかでの立場（姉・妹・兄・弟など）

家族：いつもの水曜日のお昼、家族がどこで何をしているか書きましょう。例）父は**で仕事、母は自宅、姉が大学にいる・・・など

③どうしても物語が書けないときは・・・

こんなことを考えてみましょう。

【?】地震が起こったら、いつ、どこにいけばいいのかな。

【?】友達や家族は大丈夫かな。どこで、何をしているかな。

【?】家族とは、いつごろ連絡がとれるかな。どうやって連絡できるかな。

※ どうしても書けないときは先生にも相談してみましょう。最初は、近くの人と相談しないで一人で考えてみましょう。

④時間になったら、書くのをやめて班で話し合ってみましょう。

- 1) お互いの目黒巻きを見せ合ってください。
- 2) 気がついた点や、おかしいところ、分からないところなどをお互いに言い合ってみましょう。
- 3) 出てきた意見は、どんどん自分の目黒巻きに書き込んでいきましょう。
- 4) 時間になったら終わりです。おつかれさまでした。

★ 最後に、先生が大事なことを言うのでしっかり聞いておきましょう！
書いてもらった目黒巻きは、後ほど返します。